

天草家保通信平成25年2月号

〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3

電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393

ホームページアドレス <http://www.pref.kumamoto.jp/site/amakusa-1219>

電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp



平成24年度家畜衛生伝達講習会が開催されました

平成25年1月25日、熊本農政事務所で平成24年度家畜衛生伝達講習会が開催されました。この講習会は、県内各家保職員が研修で得た情報や知識を、他の家保職員にも伝達することを目的としています。今年も天草家保の崎村参事(豚疾病講習会)をはじめ、数多くの演者による伝達がありました。さらに講習会終了後は、豚繁殖・呼吸障害症候群(PRRS)の専門家である動物衛生研究所の高木先生に、この病気に関する講習をしていただきました。養豚農家も出席され活発な質疑応答がなされ有意義な講習会となりました。

農場HACCP認証制度について

HACCPとは、1960年代に米国で宇宙食の安全性を確保するために開発された食品の衛生管理の手法のことです。特に食品工場等でHACCPの導入が行われていますが、農林水産省では、畜産物の安全確保の観点から、畜産農場におけるHACCPの考え方を採り入れた衛生管理手法（農場HACCP）を推進しています。

平成21年に「畜産農場における飼養衛生管理向上の取組認証基準（農場HACCP認証基準）」が公表され、平成23年12月からは、認証基準に基づき、民間での農場HACCPの認証手続きが始まりました。現在までに、乳用牛2、肉用牛2、養豚8、採卵鶏6の計18農場が認証されています。

農場HACCPに取り組むことにより、安心・安全な畜産物の生産だけでなく、生産性の向上に繋がると言われています。

取組みに興味のある農場の方は、天草家畜保健衛生所までご連絡下さい。

通
報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668

家きん飼養農場における飼養衛生管理基準の 遵守状況調査の結果について

高病原性鳥インフルエンザ等の発生予防の観点から、平成19年度以降、全国の都道府県において、100羽以上の家きん(だちょうにあっては10羽以上)を飼養する農場等を対象にした飼養衛生管理の遵守状況調査が行われています。

今般、農林水産省から、平成24年11月30日現在までの調査結果が取りまとめられ、公表されました。結果は下表のとおりです。

家きんの種類	飼養羽数	農場数	うち適切な飼養管理が行われていた農場	うち指導を行った農場	うち確認が終了していない農場		
					改善済	改善指導中	
採卵鶏	1000羽以上	3,150	1,719(55%)	1,329(42%)	403(13%)	929(29%)	102(3%)
	100~1000羽	1,432	674(47%)	703(49%)	186(13%)	517(36%)	55(4%)
肉用鶏	1000羽以上	3,473	2,561(74%)	882(25%)	382(11%)	500(14%)	30(1%)
	100~1000羽	215	117(54%)	96(45%)	50(23%)	46(21%)	2(1%)
全国合計*		9,194	5,720(62%)	3,273(36%)	1,103(12%)	2,170(24%)	201(2%)

※採卵鶏、肉用鶏農場以外の種鶏、あひる、うすら等を含めた数になります

種類別に見ると、肉用鶏より採卵鶏で、また、1000羽以上の農場より1000羽未満の農場で、改善指導中の農場が多く見られています。

熊本県においても、改善指導中の農場が見られることから、現在立入検査を実施し、指導を実施しているところです。

定期的な点検、防鳥ネットの補修等をこまめに行うことにより、高病原性鳥インフルエンザの発生予防に努めていただきますようお願いします。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	中国	1月 4日	豚	○型
	中国	1 2月1 2日	豚	○型
.....	カンボジア	1月26日	家きん	H5N1
高病原性	香港	1月25日	野鳥	H5N1
鳥インフルエンザ	カンボジア	1月 9日	家きん	H5N1
	ネパール	1月2, 6, 8日	家きん	H5N1

2013年2月5日現在

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」

